



P R E S S R E L E A S E

2024年7月11日

各 位

会 社 名 株式会社Ubicom ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木正之
(コード番号：3937 東証プライム市場)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 北岡明哲
(TEL. 03-5803-7339)

「国際モダンホスピタルショー 2024」にて AI×サブスクモデル「Mighty QUBE® Hybrid」 「MightyChecker®EX」の展示デモを実施

株式会社 Ubicom ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之、証券コード：3937、以下「当社」）のメディカル子会社である、株式会社エーアイエス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 正之）は、2024年7月10日（水）～12日（金）にかけて東京ビッグサイトで開催中の「国際モダンホスピタルショー 2024」に出展いたしました。

同展示会では、当社グループの技術力を結集した最新モデルである、AI推測エンジンを搭載した電子カルテ連携システム『Mighty QUBE® Hybrid』、AI検知を搭載したレセプト点検ソフト『MightyChecker®EX』の主力商品を中心としたデモンストレーションを行いました。

今回の出展では、2024年4月から適用となった医師の働き方改革関連法の影響から、過去にない大きな反響をいただきました。最終日を残した2日目の時点で180件以上の商談件数と、大好評の経過となり、現在約20,000の「Mighty」シリーズユーザーに対し、さらなる新規顧客獲得スピードの加速に寄与する結果となりました。

今後も、医療機関様の収益改善や医療安全と質の向上に貢献するとともに、20,000を超えるユーザー医療機関様の声を反映した、より良い製品・サービスの提供に努め、AI×サブスクリプションモデルによる高収益基盤の拡大を実現してまいります。



●AI×サブスクモデル：電子カルテ連携システム『Mighty Qube® Hybrid』

AIを活用した医師向けの業務支援ソリューションです。クラウド型・オンプレミス型、どちらの電子カルテシステムにも搭載可能な、高度技術を搭載したハイエンドリアルタイムチェックソリューションとなります。電子カルテへのオーダー入力の際、入力内容を瞬時にチェックし、患者に対する処方量やアレルギー等の点検による医療安全効果、AIによる必要病名の表示など、医師の事務時間の短縮化を実現します。医師はもちろん、医事課職員の労力を半減化することも可能となります。人材不足の昨今、医療機関経営のニーズが高まり本格受注が始まっております。

●AI×サブスクモデル：レセプト点検ソフト『MightyChecker®EX』

医事会計システム（レセプトコンピュータ）と連携させることで、AIによりレセプトを点検し、誤請求・請求漏れの防止・医事課業務の効率化を実現するものになります。医療機関様のニーズに応え、「マルチレセプト表示」「点検ポイント表示」「付箋ステータス機能」の3大機能を有し、さらに今後の医療機関経営を左右する、レセプト収益に関する「点検結果分析」「査定返戻分析」を搭載した当社レセプト点検ソフトのフラッグシップモデルとなります。既に、全国の大学病院、民間病院、診療所まで多くの医療機関に活用いただいている実績がございます。

<当社 株式会社 Ubicom ホールディングス、子会社 株式会社 エーアイエスについて>

当社は、「人」×「技術」で革新的なITソリューションを創造する、唯一無二のビジネスイノベーションカンパニーであり続けることを経営理念に掲げ、戦略市場と位置付ける、医療・金融/公共・自動車・PC（MFP）・AI/IOT・業務基幹システム・不動産等の戦略市場のDX化を推進しています。

医療機関向け経営支援ソリューションシステムを開発・提供するエーアイエスが担うメディカル領域においては、AI×サブスクモデルを活用した病院・クリニック向けの経営支援ITソリューションのパイオニアとして、医師の働き方改革法案の推進に寄与する、レセプト点検システム「Mighty Checker® EX」や、電子カルテ連携システム「Mighty QUBE® Hybrid」を提供しています。現在では、Ubicomグループの成長戦略である「第2成長フェーズ」の推進に向けて、30年以上培ったメディカル事業の約2万医療機関の顧客基盤・医療データベース・知財を活用した新規プラットフォームビジネス事業を拡大し、生命保険会社・損害保険会社向け「保険ナレッジプラットフォーム」の提供を開始いたしました。今後も新たなプラットフォームの提供を推進してまいります。

以上